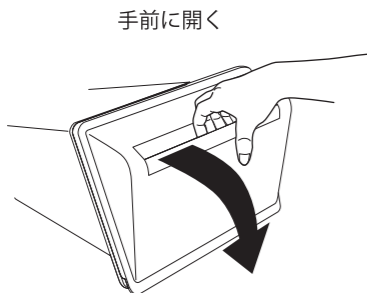


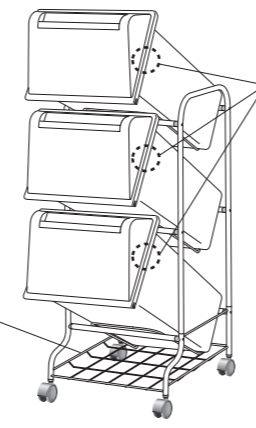


### 使用方法

ふたの開き方	ポリ袋のセット方法	ゴミ容器の取り外し
<p>ゴミ容器のふたのへこみ部分に指をかけ手前に開いてください。</p>  <p style="text-align: center;">手前に開く</p>	<p>ゴミ容器をスチールフレームから外しふたを開け、ポリ袋止め部品を起こします。ポリ袋をゴミ容器内に入れ、口元をポリ袋止め部品に巻き込み、はみださないように抑えながら、ポリ袋止め部品をゴミ容器のツメにかかる位置まで戻してください。</p>  <p style="text-align: center;">ポリ袋止め部品</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p style="text-align: center;">最適ポリ袋</p> <p style="text-align: center;">20ℓ用 (約 52×60cm)</p>  </div>	<p>ゴミを取り出す時は、ゴミ容器を一旦スチールフレームから外して行ってください。ゴミ容器をスチールフレームから外す時は、ゴミ容器本体の図の箇所をお持ちください。</p>  <p style="text-align: center;">両側のこの位置を持つ。</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">ポリ袋の収納にご使用ください。</p>

**⚠ 取り扱い上の注意**      **製品耐荷重：ゴミ容器 1個につき最大 1.5kg**

- 製品の組立完了後、安定を確かめた上で、床面の平らな場所に水平に設置してお使いください。
- 屋外や直射日光の当たる場所、湿気が多い場所での使用は請・劣化・変色の原因となりますのでお避けください。
- ストーブ、コンロ等、高温になる場所や火のそばに置かないでください。
- ふたを開いた状態で荷重をかけないでください。外れ、変形、破損などの原因となり、ケガをする恐れがあります。
- ゴミ容器 1個に入れられるゴミの重さは最大1.5kgです。製品全体の耐荷重は3段タイプ：6.5kg、4段タイプ：8kg、5段タイプ：9.5kgです。内容物の合計重量が耐荷重を超えると製品が破損する恐れがありますので**製品耐荷重を守ってお使いください。**
- 重いゴミは下段に入れてください。上段が重くなると不安定となり転倒する危険があります。
- 資源ゴミを収納する際は完全に乾かして収納してください。汚れや水分の付着残りは、臭いやカビの原因となります。
- 移動の際は床が傷付くことがありますので取り扱いに注意してください。

- ゴミ容器のお手入れやゴミの取り出し、ポリ袋の取り付け等**ゴミ容器を取り扱う際は、必ずゴミ容器をフレームから下ろしてください。**
- お手入れの際は、2～3%に薄めた中性洗剤を柔らかい布に含ませ軽く拭きとってください。溶剤(シンナー・ベンジン・アルコール等)や磨き粉は使用しないでください。
- スチールフレームに荷物などを掛けないでください。また、上に乗ったり寄り掛かったりしないでください。破損、転倒などの原因となりケガをする恐れがあります。
- ボルトが確実に締まっているか半年に一度点検してください。緩みがある場合は、ドライバーで締め直してください。
- スチールフレームの塗装は固いものが当たったり、擦れたりすると剥がれることがあります。その際は市販の補修用の錆び止め塗料等で補修塗装して頂くと錆を防ぐことができます。
- 本製品は屋内設置型のゴミ容器です。それ以外の用途での使用や改造は絶対に行わないでください。

外形寸法 (cm)		幅31.5×奥行52.5×高さ94.8(3段タイプ) / 高さ119.9(4段タイプ) / 高さ145.1(5段タイプ)			
品質表示	部品名称	材質	耐熱温度	耐冷温度	
	ゴミ容器本体・ふた・袋止めリング	ポリプロピレン	100度	-20度	
	スペーサー・キャスターソケット・ジョイントピン				
	フレーム	鋼(粉体焼付塗装)	-	-	
	キャスター	ポリプロピレン・ポリカーボネート・鋼	-	-	
容量：ゴミ容器 (1個) / 21ℓ					
原産国：ベトナム					

※製仕様及び外観は、改良のため予告無く変更することがあります。  
 ※この取扱説明書は大切に保管頂き、必要な時にお読み下さい。

**アイリス株式会社**  
 岐阜市神田町9丁目27番地

LOT 印

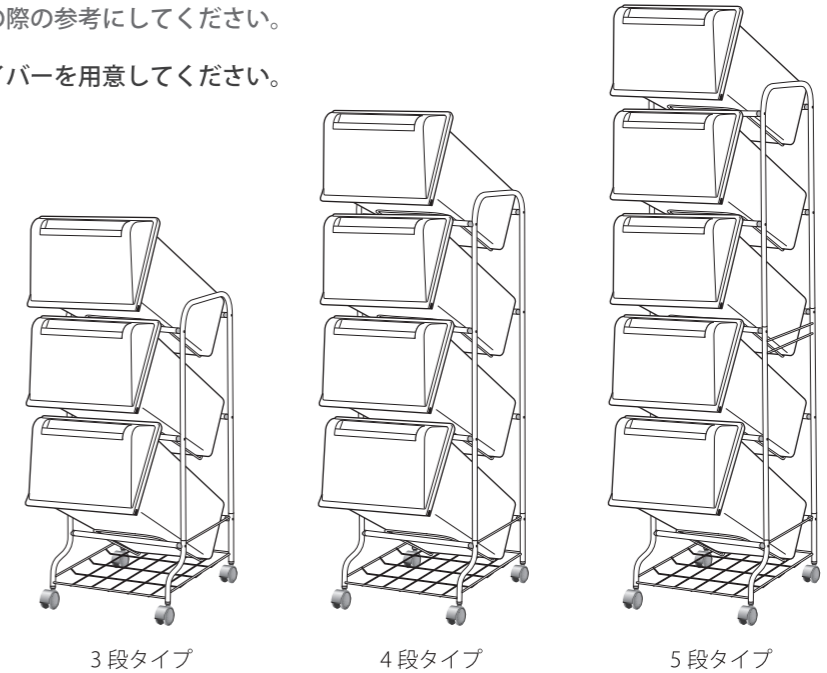
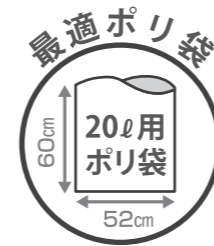
## 取扱説明書

この度はお買い上げ頂き誠にありがとうございます。  
 この取扱説明書をよくお読みになり正しくお使いください。

### 完成図

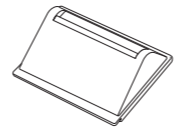
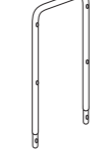
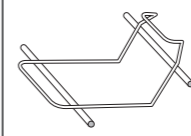


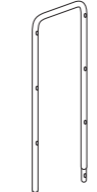
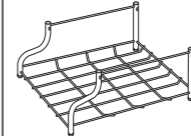

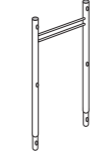

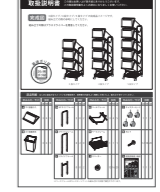
3段タイプ / 4段タイプ / 5段タイプの完成品イメージです。  
 組み立ての際の参考にしてください。

組み立ての際はプラスドライバーを用意してください。



### 部品明細

はじめに部品が全て入っているか確認頂き、説明書の内容をよく理解して頂いた上、組み立てを行ってください。

部品名称/形状	個数			部品名称/形状	個数			部品名称/形状	個数			部品名称/形状	個数		
	3段	4段	5段		3段	4段	5段		3段	4段	5段		3段	4段	5段
<b>A</b> ゴミ容器ふた				<b>D</b> 3/5 サイドフレーム				<b>G</b> ペールフレーム				<b>J</b> キャスターセット			
	3	4	5		2	0	2		3	4	5		1	1	1
<b>B</b> ゴミ容器本体				<b>E</b> 4 サイドフレーム				<b>H</b> ベースフレーム				<b>K</b> ボルト			
	3	4	5		0	2	0		1	1	1		12	16	20
				<b>F</b> 5 サイドフレーム				<b>I</b> スペーサー				<b>L</b> 取扱説明書 (本紙)			
					0	0	2		12	16	20		1	1	1

※ベースフレームはキャスターソケットを組み付けた状態で梱包されています。

# 組み立て手順



組み立て時にフレーム部品やボルト等で床や家具等に傷がつかないようにご注意ください。

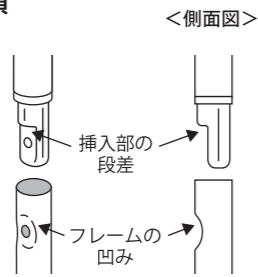
## 組み立て時の注意事項

- 組み立ての際は手や指を挟まないようご注意ください。
- 製品の組み立ては平らな安定した場所で行ってください。
- ボルトはプラスドライバーで確実に締めてください。締め付けが緩いと危険です。

### 1 フレームの組み立て

#### フレームを差し込む際の注意事項

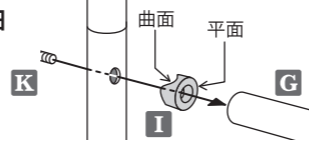
- ・フレームの凹みと挿入部の段差を合わせて差し込んでください。
- ・向きを合わせないと差し込むことができません。



<側面図>

#### フレームの組み付け部詳細

スペーサー **I** は曲面側と平面側の向きに注意して取り付けを行ってください。

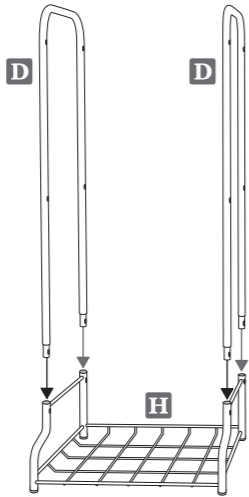


#### ネジ締めをする際の注意事項

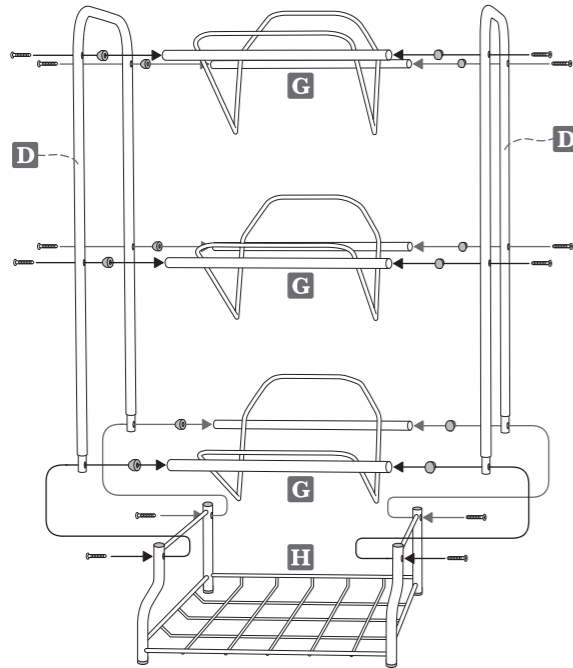
各箇所をきつくネジ締めしながら組み上げていくと、歪みやネジ穴が合わないなどの不具合が起こりやすいため、仮固定の状態を組み上げていき、最後に増し締めをしてください。

#### 3P フレームの組み立て

3/5 サイドフレーム **D** をベースフレーム **H** に差し込む。



3/5 サイドフレームとベースフレームの側面の穴にボルト **K** を差し込み、そのボルトをスペーサー **I** を通してからペールフレーム **G** のパイプ先端のネジ穴に締め付ける。

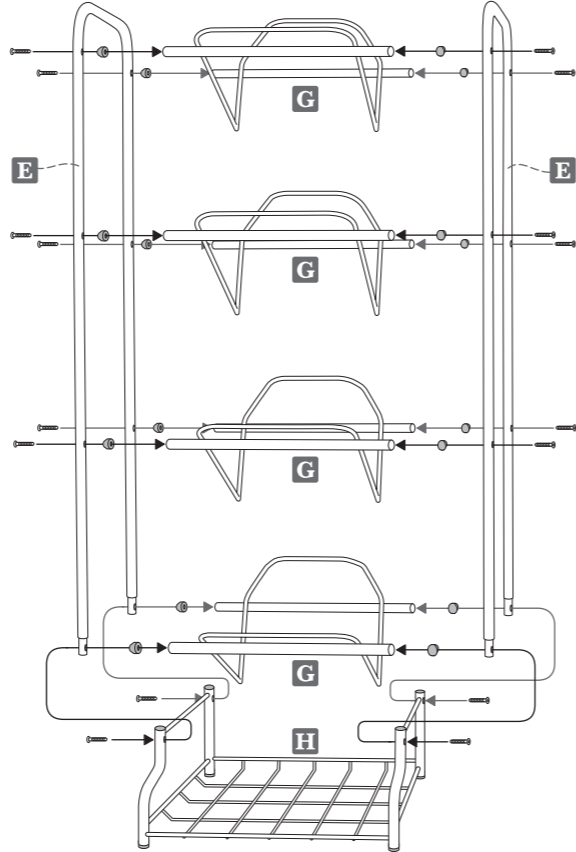


#### 4P フレームの組み立て

4 サイドフレーム **E** をベースフレーム **H** に差し込む。

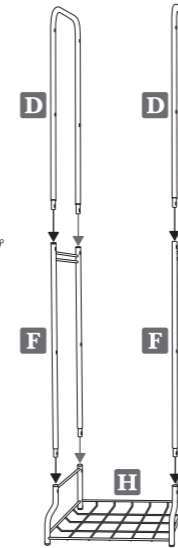


4 サイドフレームとベースフレームの側面の穴にボルト **K** を差し込み、そのボルトをスペーサー **I** を通してからペールフレーム **G** のパイプ先端のネジ穴に締め付ける。

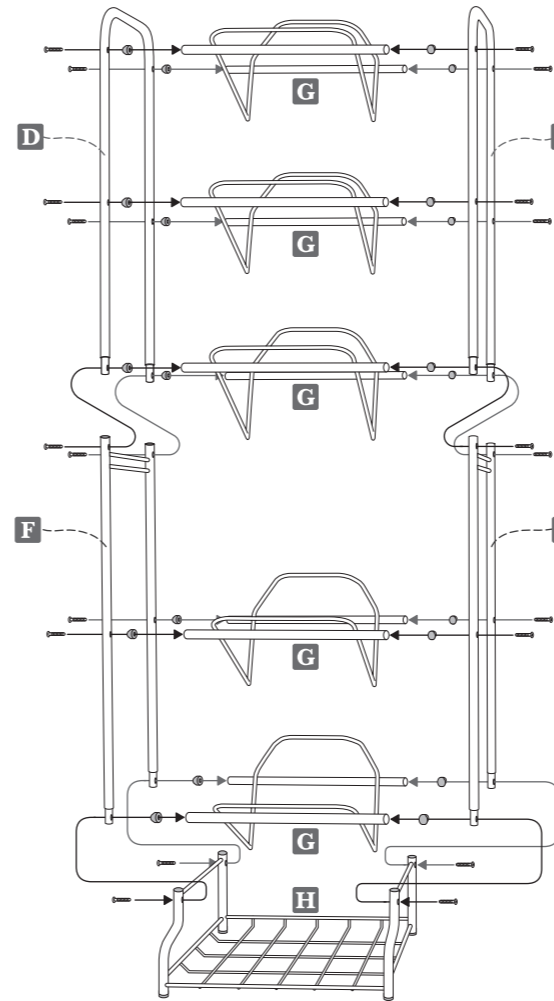


#### 5P フレームの組み立て

5 サイドフレーム **F** をベースフレーム **H** に、3/5 サイドフレーム **D** を 5 サイドフレーム **F** に差し込む。

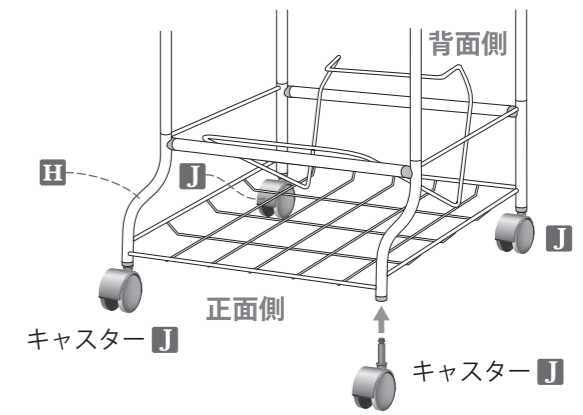


サイドフレームとベースフレームの側面の穴にボルト **K** を差し込み、そのボルトをスペーサー **I** を通してからペールフレーム **G** のパイプ先端のネジ穴に締め付ける。



### 2 キャスターの取り付け

ベースフレーム **H** の底面にキャスター **J** を差し込みます。

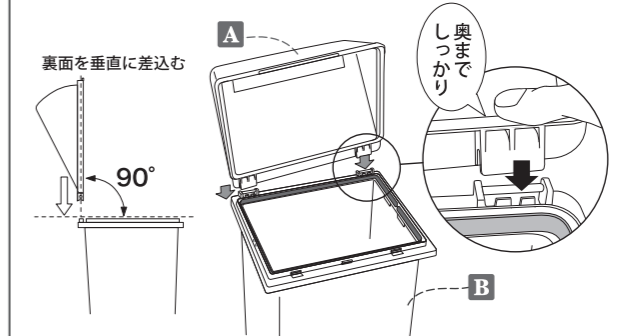


### 3 ゴミ容器ふたと本体の組み付け

ゴミ容器本体 **B** にゴミ容器ふた **A** を組み付けます。

図の位置を指でしっかり奥まで押し込みます。

ふたを組み付ける際は片側ずつはめると上手く取り付けられます。



※取り外す時も同様に、ふたの裏面が垂直になるようにして取り外してください。

### 4 ゴミ容器のセット

**3**のゴミ容器をフレームにセットして完成です。

ゴミ容器の底面がペールフレーム **G** の奥まで届いていることを確認してから使用してください。

